

特 243

689

庶民  
本 マルクス経済

松尾小三朗著

帝國經濟聯盟發行

2



\*0020519000\*

0020519-000

特 243-689

マルクス経済

松尾小三朗・著

帝國經濟聯盟

昭和8

ADB

この著作物は、著作権者不明のため、著作権法  
第67条の規定に基づき、平成12年3月23日  
付けで文化庁長官の裁定を受け使用するもので



特 243

689

庶民  
讀本

マルクス經濟

松尾小三朗著

帝國經濟聯盟發行



# 讀

非常時世界も日本も吾々も  
社會改造國家改造經濟革命  
國民よ青年よ迷ふのは愚だ  
百萬の法律も律するに難也  
合法社會的制裁に猛進せよ  
在正業而修養膺懲せよ邪奸

# め



時 243  
689

731

松尾小三朗著

庶民  
讀本  
マル  
クス  
ス  
經濟

帝國經濟聯盟發行





# 目次

序	一頁
一、マルクス主義とは	五
二、露西亞の共産黨とは	六
三、マルクス經濟實施の失敗	二五
四、露國々營工場ストライキ騒動	三三
五、一億三千萬の露國農民の生命	三九
六、王座のファツシヨ共産黨役人	四六
七、露國共産黨の運命	五三
八、職業婦人、女學生、インテリイ女性よ	五七
九、鰻屋鰻の味を知らず	六二
十、社會の改造と云つて	七三
十一、青年男女よ	七六

# 序

生者必滅、生れては死し生れては死ぬ、平和と幸福を亂さるゝ時非常時なり、文化の發達が人類に幸福を與ふる一面には不幸をも與へて居る、不自然の死……自殺、心中、傷害致死、戦争變亂死傷と云ふものは文化の發達に従つて比例的に増加せられた、學術研究の進歩が人類に幸福を與ふると共に、一面には不幸を與ふるところの進歩ともなつて居る。

マルクスの經濟論は抑も人類に幸福を與へたか、與ふるであらうか、理論と實際とを並べて見ねばならぬ、物理化學の理論は實際に行はれ得るも經濟、社會生活の事となると理論だけを捉へて居れば名説であつても實社會にはいけないものが出て來る、吾人は實際を尊びたい。

序

X

X

X

X

一



無産者諸君よ、資本家特権階級を非難する諸君よ、今日の資本制度に幾多の缺陷は存在する、資本主義も萬全とは云はれまい、ではマルクス主義共産主義はどうであるか、マルクス主義も人類の幸福が目的であらうが、實驗臺に乗せられた一億七千萬人の露西亞の人間の實際は幸福であるだらうか。

國粹論者、憂國の志士諸君よ、五・一五事件と云ひ七・一一神兵隊と云ひ、破壊によつて改造し國を救はむとする、手段は左翼と共通性がある、破壊ならては改造が出来ないか、資本家特権階級は庶民の聲を容れないだらうか、破壊したら直ちに改造が行はれるだらうか。

資本家特権階級諸君よ、共産黨事件で一萬人の被檢舉者が出たとて鯨や鰯は海に盡きない、司法者や思想係で名を上げた平田檢舉なども樂觀は許

さぬと云ふ、更に右翼の蠢動をなんと見る、時代の認識を怠つてはいけな

い。  
共産黨事件で學生など檢舉され家庭に知らせると、意外な顔をして、本人は温順で過激性で無いから共産黨など以ての外何かの間違いだらう」と申出てるが本人の自白を聞いて二度ビツクリ公職を退くやら謹慎となる。銀行會社等でも「他は知らず自分のところは恩情主義で優遇してゐる」などと太平樂を並べて居る足下から檢舉され、そんな筈ではなかつたと狼狽する。

内務省が、文部省が、司法省が鵜の目鷹の目で取締を嚴にし、峻烈な檢舉と嚴罰主義でも猶次から次に潜行簇生する共産黨、其罪や何所に？  
恐いもの見度し、隠さるゝもの知り度しは人情の常である、珍品扱ひを



したり臭いものとして蓋をするが故に好奇心をそゝり、のぞいては純心にして理論にのみ盲目、實社會の認識不足な學徒を禍し、或は片鱗をのぞかせて大衆の歡心を買ひ、利己の爲め政治運動、社會運動、勞動運動等が行はるゝのではあるまいか。

共産黨公判の公開により矛盾の一端が世に知られ、轉向によつて色を薄くせられた結果より見て、臭いものゝ蓋を排し天日に克明の検討を爲さしめ、理論と實際の認識を國民に與ふることが緊要ではあるまいか。

X

X

X

X

何程の價値づけられるゝやを知らない、學生諸君、街の隅、工場の隅、田園の隅でも讀んで貰ひたいとの希望で努めて平易にした、有識者が讀んでは馬鹿らしい部分もあらう、それでも猶或階級には考へさせられる部分もあるだらう……庶民讀本である。

(小三朗)

### 一、マルクス主義とは

マルクス主義——庶民讀本として判り易く云つて共産主義、理論と實際を引き出してくるならば露西亞と共産黨之れほど著名なものはない、勢い共産主義と共産黨そして試験管の中に入れられた露西亞と云ふものを正視せなければならぬ。吹聴や宣傳だの又は故意に攻撃せむが爲めの攻撃と云つたものに超越をして、無念無想それから冷靜徐ろでなければ正視は出来ない、正視せよ。

相當階級の人ですら共産主義も、共産黨も、共産主義國際社會黨もみんな、よこしにして居る人が少くないのである。尤も此三つの正體全部がハッキリわかつて居つたなら、日本の共産黨事件なども起らないかも知れない、凡らく知名の經濟學者でも此三つの總てを完全に納得して居る人は少いであらう。だがしかし此三つのものが各々別個のものだ位の區別は知つて置かなければならぬ。

共産主義と云ふのは全くの經濟學說であつて、専門の學者でも其總てを知ることにはなか／＼一朝一夕で出来ない廣汎のものである、其學說の中にはよいところもあれば悪いところもある、賛成論



もあれば反対論もある、わかり易く云ふならば緊縮政策（緊縮主義）インフレーション政策（通貨膨脹主義）と、云つたやうなものである。

共産黨と云ふのは次の項に述べるやうに、共産主義を實施するのだと云つて、露西亞の革命をやらかした政黨のことであり、民政黨だの政友會だの國民同盟だのと云ふのと同じものである。

共産主義國際社會黨（コミンテルン）と云ふのは、露西亞の共産黨が國外に向つて宣傳をして黨員を集め、自分と同じやうに他の國にも革命を起させやうとする機關、として拵へた政黨であつて共産黨とは一身同體のもので、日本で檢舉された者は皆んな此政黨に入黨をしたり關係をしたりした者である。

共産主義と云ふのは全くの理論學說であつて、世の中のことは斯くしたらよい斯くせなければならぬ、と云ふ理論、希望の一種である。吾々人間は皆同じ人間であるから、皆が同じやうに社會の恩恵に浴し、同じやうに働いて同じやうに楽しんで、同じやうに生れてから死ぬまでを送るべしと云ふのが根本となつて居る、理論として希望としては公平な話であり、ちよつと傾聴に價する日本でもマルクス主義の一端が現在實施されて居るものもあるが、ちよつと名論であると云つて直ち

に其全部を盲信することは危険がある、橋の上の乞食に十錢玉を投げ出して行く男を見て彼は善人なりと断定は出來ないだらう、或は善人であり又は強窃盜であるかも知れぬ、マルクス主義共産主義と云ふのが理論である希望であると云ふことは判然と知つて置かなければならぬ、従つて理論は則ち理論であつて、結構な理論も世の中の實際には不適當だと云ふことが出てくる、同一の事柄でも徳川時代なら行はれ得るが昭和時代には行はれ得ないとか、泰西には實施され得ても日本には實施が出來ない、と云ふやうな事も生れてくる、共産主義もともと社會經濟上の理論であるから、理論は理論でも實際社會と云ふことを等閑にすることは出來ない、理論よりも實際社會の吾々の生存と云ふことの方が重要である、極端な話したが吾々實際社會の共同生活に便宜であり幸福であるならば理論の上では悪くても一向差支へないではないか。

同じやうに働いて同じやうに楽しむ同じやうに生活をして行く、と云ふ共産主義も公平な話してあるから出來さうに思はれるが、實際社會に當てはめて見るとなか／＼簡單には納まらない、先天的に人間の身體や頭の働きには萬人が萬人差別があるのであつて、五十キログラムの品物を持ち運ぶ力のある者もあれば三十キログラムの物でなければ持つて歩けない者もある、化學や機械の發明



八  
をする優れた頭の持主もあれば何度致へても覚え込むことの出来ない者もある、身體なり精神の働きには萬人優劣の差別ある其人間を捉へて一律に同じやうに働かせて行くことは、出来得ない相談である、更に又能力、働きに違ひのある人間を同じやうに待遇をして同じやうに生活させて行くとしたなら、能力の優れた者働きの優れた者は必ず不平をならべるであらう、例へば富士登山をする時「強方」を二人雇つて行くとして、甲の強力は力が強く四十キログラムの荷物を持って呉れたが乙の強力は二十キログラムの荷物でなければ持つて行けなかつた、それで甲乙兩人の強力を同じやうな待遇として日當三圓づつの賃金を拂つたとしたなら、甲の強力は必ず不平を云ふ、だとすると共產主義の根本理論で希望する人間を同じやうに働かせることが出来ないのみか、同じやうに待遇することによつて身體なり精神の働きが優れた者に不平を云はせることとなつて公平と云ふことに反してくる。

理論と云つても物理や化學の理論であると、水を冷せば氷となる何馬力のエンジンでは何噸の品物が運べると云つた工合に理論が實際に行はれ得るが、社會状態とか經濟状態人間生活の事となると理論通りに實施することの出来ない事が出てくる、又理論通りに實施してもよいと思つて研究の

結果實施されたことですら、後になつて悪かつたとなることが少くない、近い話しが昭和六年一月十一日に金解禁と云ふことが行はれた、其解禁をするまでには緊縮節約と云つて全國民に政府が強制をして半年以上も準備を施し、立派な學者や政治家の多數が頭をしぼつて愈々差支無しと云つて解禁が斷行せられたのであつたが、解禁後になつて種々な故障が出て僅かに一年再び金の輸出が禁止となつた事は何人も知つて居る事實であらう、再禁止をする位なら始めから解禁はしなかつた方がよかつたのである、共產主義の理論も又さうである、盲信して悔をのこす如き事のないやうにしたい。

他人が贅たくをしてゐるところを見て反感的な考へで、共產主義でも實施されたなら彼も吾れも同じになる、などと思つたらとんでもない間違ひである、露西亞の實例を見ればよくわかる、勿論彼と吾れとは同じになつて彼の贅たくは無くなつてしまつた、だが彼に替つて新たな彼氏が生れて以前の彼と同じ贅たくが見せつけられるに至つた、則ち貴族富豪資本家と云ふ名目が消えて共產黨と其幹部と云ふ名目に變つて新らしき特權階級が出来上り、そして吾れは以前よりも生活が苦しくなり悪くなつたのである、だとすると以前のままがよかつた事になる、日本にも新らだな彼氏を志



願する労働組合の何々とか、學者や政治家の或者などが存在する、自ら墓穴を掘るやうな事があつてはいけない。

他人より二倍も三倍も働ける者が働いて得た餘分のもを、餘分だけ取り上げる（今の露西亞のやうに）としたなら働く者は無くなる、では餘分に働くな萬人同じまうに働けと云つたらレベルをどこにするか、底能不具癡疾者か乳幼児か乃至はちつとも働かない乞食を標準にせねばならぬ、働かないで遊んで居られるのはよからうが、吾々の慾望日常の生活には原始時代のやうに自然天恵の物質のみで満足することは出来ない、それでは文化の退歩還元となるだらう、それなら働ける者働く者には働かせて餘分に働いた者の餘分のもは働いた者に得せしめなければならぬではないか、餘分のものか積り積つて大きくなつたとてそれは同じである、持つて居るところのみを見るだけでは當を得ない、持つに至つたことも考へねばならぬ。

日本に經濟學者も政治家も山ほど居る、河上博士などマルクス論の翻譯でしこたま貯蓄した人も居るが、マルクス主義の枝葉末節のみを取扱ひ、大衆的無産者に迎合するやうなところをいじくり廻して居るやうに思はれるが、其根幹をなぜ取扱はないだらうか、根幹に於てならば大衆無産者に

も決して有利とならないからである。

無産者と云つても何程かの財産はある、過般或乞食が百何十圓かの金を溜めて居て警察で怪しまれた者もある、一圓の貯金も財産なら千圓も萬圓も百萬圓も百億圓も同じく働いて得た餘分である、千圓なら持つて居るが億圓は持てないとは云へない、限界はつくられない、さうすると一錢も一物も餘分なものを持たせない共産主義經濟絶對平等主義と云ふならば通るだらうが、それだと米は一人一日五百グラム支給すると假定して、喰べきれない者は残りを捨てられるが不足の者は困る、砂糖は一人一日五十グラム酒は五デシリットル、甘黨は酒を捨て辛黨は砂糖を捨てる、人間各々相異なる慾望嗜好を満足することが出来ないではないか、それなら甘黨と辛黨と砂糖と酒を交換させればよい、其他の支給物もさうさせればよいと云ふだらう、だとすると私有財産を認めらるのであり溜めて置いて自分の好む時に好むものと交換がせられる、そこが資本主義と云ふのである、經濟絶對平等主義などと文字の上言ばの上では立派なものが、嚴正に實施されたら萬人相異なる慾望嗜好は何れも満たされないので總ての人間が不平不満を訴ふる結果が生れるのである。

薔薇の花にもとげあり、學者や政治家の或者が、人氣取りにかつき出すものは勿論大衆に迎合す



るやうなものばかりである、そして大衆にも決して満足を與へられない結果となるところはマスケをしてしまふ、少くとも共産主義について其根本に於ては不適當のものであると云ふことは、學者なり政治家指導者等は國民によく知らせてやる義務があるのではなからうか。

資本主義私有財産を認むると云つても、膨大な私有財産は所有者の實力下に保營は出来ない、社會の秩序維持によつて始めて維持せらるるのである、社會の秩序維持の爲めには費用がかかるから財産に課税して其費用を支辨せられ乃至社會事業費に投ぜらるる、それでよいのである、資本主義を毀して共産主義にしたからとて決して無産大衆の利益とはならない、否露西亞の農民労働者のやうに資本主義下よりも一層悪くなつてしまふ、生きた實例露西亞を見るべしである、だが然し財産に課税と云ふものは時代に應じて適切なる政策實施等の爲め常に改善せなければならぬ、その改善を怠るから今日の如く資本主義攻撃が出て来る、そして早慶戦に慶應ファンが慶應側と喧嘩した爲め不本意だが早稻田ファンに變らうとするやうに、資本主義攻撃の行がかりが共産主義崇拜に移らうとするのであるが、資本主義の方が共産主義に比して大衆無産者の爲めにも數等勝つて居るのである。

共産黨が露西亞の革命をして共産主義の學說全部を實施して居るかと云へばさうではない、學說理論の上では感服されるものも實際社會に當つて見ると實施が出来ないで困つて居る、共産黨は惡意で革命をしたのではなからうが、破壊はして見ても學說理論の實施が出来ないから後の建設に困つて居る、ソコが社會經濟の理論は物理化學の理論と違ふところである、破壊後の建設が出来ないから露西亞の經濟も、國民自身の經濟も困窮のドン底に陥入つて居るのが實際である、本書の他の項目を見て貰ひ度い。

高等學校や大學の學生諸君がマルクス主義の著書五冊か十冊を読んで、それが革命後の露西亞に實施されて居るかのやうに早合點をしたり、マルクス論の一部分を見て總てがさうだと早呑み込みをして、人間の本能と能力に従つて共同生活をせられて居る實社會の認識が不足であるが爲めにとんでもない間違ひを引き起して居る者がある、マルクス主義の總てが悪いと云ふのでは無い破壊によつて實施を圖るなどは、現に露西亞が破壊後の建設が出来なくて困つて居る危険な前轡が證明せられて居るではないか、そんな危険にさわらなくともマルクス主義の長所は長所として現在のまゝで取り入れ、社會生活の改造は行はれ得るのである。



外國の政黨に入黨することの善悪は別として、政談演說會で甘い政策演說を鵜呑みに聞いて来る如く外國の政黨コミンテルンが我田引水的宣傳の甘い文句につられて鵜呑みにすることは危険である。河上某と云ふ博士は學說理論に通じて居つても實社會の實態様には暗い、まして政黨などのことは一向に御存んじ無しであるから政黨の宣傳に引懸る、自分の知つて居る理論が旗印とされた宣傳であるから懸り易い、政黨の認識實際社會の態様に就いての認識不足が災したのである。

日本が今日の文明を獲得したのは明治大帝の御英明によつて開國され泰西の文物が取入れられたが爲めではあるが、一も二も無く泰西カブレをするに危険がある、過去七十年泰西の文物が輸入されてもそれが日本の國體日本人の生活に適合するやうに漸進的にかみくだいで用ひられたのである、過去の歴史で見ると時によつては泰西の文物を其まゝ鵜呑みにした爲め失敗をしたのも少くない、男の帽子の飾り帯の結び目や婦人帽子の飾りがみんな左の方に附けてあるが、之れは泰西では道を歩くに右側を通るから向側を通る人に對照して飾りが左に附けてあるのである、ところが日本では昔左の腰に刀を差した關係からサヤアテを防ぐ爲め左側を歩くのが例となつて今日猶左側通行であるから、帽子の飾りも其目的からすれば日本では帽子の右の方に附けなければならぬ、之れ

は鵜呑みに泰西から取り入れた一例であつて帽子の飾りなどはそれでよいが、國體や吾々生存上に重要な關係のある共產主義と云ふ社會經濟上の理論はウスツペラな研究や考へで輕率に取扱ふことは出来ない、今日の日本は泰西から學ぶと云ふ時代が過ぎ去つて泰西に教へると云ふ時代に入つてゐるのではあるまいか。

居マルクス主義の理論は泰西の人が泰西の生活状態の渦の中で作り出された理論である。凡らく日本の米の味茶飯の味を知らない人が作つたのである、マルクスに云はせたら日本の割箸は不經濟千萬だと云ふだらう、一食毎に捨ててしまふのだから一本が三厘として千本では三圓となる、食堂などでは象牙なり銀製の箸にしても一圓とかからぬから莫大な経費の節約が出来るとは云ふまいか、割箸は之れを廢止すべしと云ふだらうが、食物の味わいは同じ品でも容れ物のきたないのとききれいなとで口に入れての味の感じが違ふ、新しい箸と古い箸とでもさうである、そこでマルクス式の理論で行けば食物は身體の榮養の爲めに用ゆるのであるから味を本位とすべきではない病氣の時はいやな藥さへ吞むではないか、榮養本位で食物を喰へとなる、それは理論であつて食物は榮養の爲めに用ひるのであるから味はかまはない筈であらう、が然し吾々人間の實際ではそんな理論通りには



出来ない、むしろ危険を犯して「ふぐ料理」をたべたいのが人間ではないか、新らしい割箸を使つて味わいを感じる気持ちは割箸を知らない者には判らないのである、マルクス式割箸不経済論も理論だけであつて実際には行はれ得ないこととなる。

泰西に芽ばえたマルクス主義共産主義の理論であるから、國體の違ふ生活状態の違ふ日本に轉呑みをする事は勿論出来ないが、泰西其ものに於てすらも不適當とせらるるところが多いのである、だから露西亞の共産黨でも實施が出来ないで困つて居るものがある、政黨であるコミンテルンだの腹に一物ある學者政治家労働團體の或者などが並べ立てるマルクス主義共産主義と云ふものは、並べ立てるところの其もののみを正直に聞いて居つたら「ふぐ料理」の中毒を起す危険がある。

## 二、露西亞の共産黨とは

露西亞の共産黨はマルクス主義共産主義を旗印として實施するのだと云つて、十六年前露西亞の革命をやらした政黨である、革命に成功し現在露西亞に獨裁政治を行ふて居る、革命に際する宣

傳では。

マルクス主義共産主義を實施するのである、さうすると國民から搾取して贅たくをして遊んで居る貴族、富豪資本家、特權階級と云ふやうな者は皆無くなつて、人間の階級と云ふものが廢止されるから國民全體が總て平等となり、何人も同一の權利主務となつて何人も同じやうに働き同じやうな生活をして行くのである。

と、露西亞の國民に呼びかけたのであるから。其政策の大綱を聞いただけで大衆的國民は學者と違ひマルクス主義だの共産主義だのと云はれても詳細は知つて居らないから、そんなに公平なものでそれを實施すると云ふなら此上もない善政である、として共産黨に一も二もなく賛同をした、其御かげで露西亞の革命が成功し、そして共産黨天下で政治が行はるることになつた。

ところが共産黨天下になつて見ると、革命に際して共産黨が言つたやうな政策はなかなか實現されない、成る程貴族、富豪、地主、資本家などと云ふ名目の者は無くなつたが、其跡益に共産黨と其幹部と云ふものがお替りとして生れ出でしまつた、それで國民全體が總て平等に同一の權利義務だなどと云ふ事は夢にも行はれない、共産黨の幹部と云ふ者などは前の王侯貴族と云つた者と同じ



權勢振りを發揮し、共產黨員全部が役人軍人となつて黨員だけは生活が保障されて、國民が一生懸命に働いて收穫をすれば餘分のものを取り上げて都會に持つて行き黨員の食料とする、勞働者の生活は以前よりも一層悪くなつて或者は満足に食料さへ得られない、不平不満を並べ立てると辯解や立證を許さない忽ち捕縛して監獄に入れてしまふ、人間の自由意思の尊重など殆んど認められない、しかたが無いから共產黨員以外の露國民一億六千萬人は黙々として共產黨の命するがままに働き、不平不満はあつても命には替へられない其日々々の露命をつなぐに過ぎない、多數の國民は役人軍人の銃と劍の保護？下に絶對服従であつて、其間嚴然たる階級をつくり上げ、帝政時代よりも甚だしき威壓獨裁政治にしてしまつた。

それは共產黨が政黨であると云ふことの認識不足から不望の結果が醸されたのであつて、共產黨の言ふがままに盲信した正直な露國民大衆自身の罪であると云はねばならぬ。

政黨と云ふものは獨り共產黨に限らず、何れの國何れの政黨であつても、政權の獲得や其他の懸け引きの爲め主義政策……主義政策則ち希望である……と云ふものは多數人の歡迎するやうなものを必ず並べ立てる、政策が大衆の反對を受けても政策其ものは眞に大衆を益し幸福を與ふるもので

ある——と云ふやうなものは實際には殆んど在り得ないものであるが——假りにそんなものがあるとしても政黨がそれを政策として掲げやうものなら其政黨自身は忽ち破綻の運命となるのであるから、決してそれを掲げないで實施上の効果に疑ひがあつても必ず大衆の歡心を買ふやうな政策を選んで來て、宣言にも成るべく大綱だけに置いて置く、そして後に實施と云ふ時に抜き差しが出来るやうにする、農村救済とか中小商工業救済とか、國防確立だの貿易振興、財政整理行政整理と云つた工合にほんの項目だけを示す、一口に行政整理と云つて斯うして斯んなにすると云ふやうな具體的事項を顯はさず漠とした文字を並べて置いて食言を防ぐ抜け道を豫め設けて置く、政黨の消長は政策宣言に大衆の氣受けのよい巧みな文語を考へ出すや否や——にあるが、自己存在を主として割出されたところの主義政策が並べられる。

手近い話して日本にも政黨が幾つもある何れの政黨の主義政策を見ても、どれも立派なものばかりであることは新聞を讀んで居る人なら知つて居らう、ところが其政黨が一度政權にありついて内閣を組織すると、野に在る時並べ立てた政策は一部分は實施されることもあるが、實施されないものが甚だ少くない、實施されない政策のこととなると目下調査中であるとか、何々調査會何々委



員會を設けて責任を免れる形式となり、心境の變化だの經濟狀態社會狀態の變化と云つて改論せられ、不實行政策辯解の爲め内閣の存命中を之れ事とせられたのは、過去の歴史により之れを證明せられて居る。

だが、此日本の政黨などはまだ／＼よい方であつて共產黨の掲げた政策と、其實施されて居るところでは革命から十六年も過ぎた今日猶大きな開き、否逆轉的な結果が産れて居る、マルクス主義共產主義を實施し階級を打破して國民全體を平等にし、平等に働き平等の生活をさせるのだ、と云つて大衆の歡心を買ひ革命されたのであつたが、平等どころか共產黨は獨裁の壓政を行ひ嚴として特權階級となり、國民の自由は極度に束縛され其生活は以前にも増して悲惨な狀態に落され、文句も言へない、期待された共產國など夢にも出て來ない。

そんな筈では無かつた——と云つても最早取り返しつかない、一億六千萬人が哀れな今日になつてしまつたのは「政黨」と云ふものの認識不足が其源である。

ソビエト・ロシア共產黨の黨員は百五十萬人女子共產黨員十五萬人、合計百六十五萬人の黨員を擁して居る、ところが露西亞政府の役人、中央地方の執行委員何々地方委員議員と云はれる者が

四十萬人、軍人百十萬人と女子で役人などをして居る者が十五萬二千人、之れ等役人全部を合計すると百六十五萬人と云ふ數字が生れる、して見ると露西亞の役人全部が共產黨員全部となつて居る、そこで露西亞の人口は、勞農ロシアの五ヶ年計畫（後に十年計畫となり更に十五ヶ年計畫に變更された）の内で發表されたものによると、千九百三十三年の人口は都會地三千四百萬人農漁村一億三千五百萬人合計一億六千九百萬人、となつて居るから此一億六千九百萬人の約一分（人口千人中十人弱の割合）に相當する百六十五萬人の黨員全部が役人となつて居る。

役人である黨員は、支配者権力者の地位に在つて生活は保障され安穩な其日を送つて居り、黨員でない役人で無い一億六千萬人の庶民は工場に農場に漁場に、街の仕事に自由勞働にあせみどろとなつて稼いでも生活が安定されない、自由は束縛される、命に別條は無くても慰安が得られない。

不思議に思はれるのは露西亞政府の發表の中に「失業者五十萬人」ある事である、共產主義が實施されるなら過大な勤勞は必要としない代りに、勤勞がら免除せらるることも許されないのであるから、従つて失業者と云ふものは一人も無くならねばならない筈である、共產主義實施下に失業者を存せしむることは非共產主義の證明となる、不可解千萬であるが而も其失業者の數は事實に於て



二三百萬人以上であると云はれて居る。

それから露西亞では私有財産と云ふことを認められないのであるから、假りに豊年萬作であつても自分の食料以外はみんな政府に取り上げられ、都會に持つて行き役人黨員の食料とする「帝政の政府は、資本家は、富豪は、搾取の機關である」と云つて革命に成功した共産黨が、黨員だけで役人の地位と國家の總ての機關を獨占し、專政政治を行ひ農民の收穫物を徴收し贅たくをして生活してゐるとしたなら今度は「共産黨の方が搾取の機關」に代つて居るのだと云ふことが出来る。

共産黨は黨の地位を擁護する目的よりして、青年共産聯盟（コムソボル）女子青年共産聯盟（コムソボルカー）と云ふものを設け、共産主義教育文化教育政治教育を名とし其實共産黨教育を施して居る、其聯盟には十五歳以上二十歳迄の者に加入の義務を強制し、共産黨が専ら指導監督をする、聯盟の目的として掲げられて居るところは。

一、勞農青年の間に共産主義を普及すること。

二、ソビエト・ロシアの積極的建設及新生活様式の構成に向つて青年を誘導すること。

三、勞農青年の經濟的的政治的及法律的利益を擁護すること。

四、共産主義を基礎とする青年聯盟の建設及其の國際的結合に向つて西歐青年と共同の動作を執ること。

と、なつて居て此青年共産聯盟の會員は男子二百萬人、女子四十萬人合計二百四十萬人と云はれ、目的が共産黨教育に在るのは勿論であるが、聯盟員に對しては特別の待遇と利益を與へて彼等を「政治上の小使」として手足のやうに使役し「密偵」と云ふ重要な役割を負はせ、共産黨に對する不平不満、反抗をする庶民を検舉し、黨の存續を圖るところの重大且唯一の機關とせられて居る。

著者は故意に共産黨の悪口を述べんとするものでは無いが、共産黨は大衆的庶民の不平不満……共産主義實施の失敗……を外國人に知られる事を極度に恐れて居る、外國人が露西亞に行つても一般の視察を許さないのは不可解である、西比利亞鐵道で途中の驛に五時間も六時間も汽車が立往生をして居る時でさへ一步も驛から外に出るのを許さない、西比利亞と云つても停車場の所在地であれば日用品配給機關なり、教育機關農民指導機關なりが必ず在る筈である、それ等は軍機にも關せないから外國人に參觀させても差支ないのである。

だのに共産黨は、何の必要かは知らねども國外に向つてまで自慢宣傳を盛んにやりながら、其國



内政治の實狀を外國人に見なせいとは不合理であらう、革命早々なれば「未だ政策實施の整理がついて居らない」との辯解も出来るが、最早革命後十六年少さな事は兎も角共産主義實施の大綱は實現されて居る筈である、百聞は一見に如かずコミンテルンが國外宣傳に苦勞するより國內實狀を見せるのが近道ではないか、喜んで見せて大いに誘いとすべしであるのに發明された機械が何ぞのやうに隠蔽して見せないとは、共産主義實施の失敗を語るところの證とならう。

共産黨とは、共産主義を實施し國外まで其自慢宣傳はするが、實施狀態は發明した機械と一般外國人には見せない——みぞれ降る橋の下に菰を被つてふるへて居る乞食が俺は金の延べ棒を持つて居るから寒くはない、だが其延べ棒は見せられない——不可解な共産黨はそれである。

露西亞の全國民數……………壹億六千九百萬。

共産黨員男女合計(之れが全部役人)……………百六十五萬人。

青年共産聯盟男女合計(密偵)……………二百四十萬人。

此表をよく讀んでよく玩味すべきであらう、重ねて注意を喚起したいことは、共産黨が政黨であること、黨員全部が役人であつて人口千人の内十人の黨員が役人となり銃と劍で九百九十人の庶

民を保護し、絶對服役を強要し獨裁政治が行はれ黨員が支配者となつて居ることである。

### 三、マルクス經濟實施の失敗

マルクス經濟の實施、共産黨が革命をやらかすのに共産主義を實施するのだ、と云つて大衆に呼びかけ先づ第一に労働者階級から禮讚され、其團體的應援が革命成功の上に重要な役割を演じたのである。

革命當時共産黨は能書きをたくさん並べ立て國民の歡心を買つた、農民には農民向き労働者には労働者向きの能書きを盛んに宣傳して、それで成功した、労働者に向つての宣傳能書きの一部を示せば。

共産主義では所有權など云ふ不都合な不公平なものは全部無くし、貴族富豪資本家と云つて遊んで食つて居る不生産的な人間を全部無くし、國民全體が平等に働いて働いた結果の實は、働いた人間に平等に分配がされる、さうすると今迄利益だの地代と云つて資本家貴族富豪が贅たくをする爲めに取り上げて居つたものが無くなつてくる、それだけ餘分が生れるから餘分の



ものも働いた者に分配してやる。

と云ふのであつた、成る程理論は其通りで資本家を無くすれば資本家の収入して居た分は無くなる、其分と云ふものが労働者に分配されると労働者の収入は増してくる生活が楽になる、理論は正當であらう小學校の生徒でも成る程と納得が出来る位いで何人も異論はないであらう。

然らば共産黨は……露西亞では其理論通りに實際に行はれ、水を冷せば氷が出来るやうに、資本家の取り上げて居た分と云ふものも労働者に分配されそして労働者は収入が増して生活が楽になつて居るであらうが、先づ實例から先きに引例して見る。

露國々營煙草工場「ローザ・ルクセンブルグ」に革命前より職工として働いて居た、パウルクーと云ふ職工は原料整理工場の一場所の職長をして居た者であるが、同人の革命前と後に於ける収入生活を調べて見ると。

革命前は一ヶ月の勞銀六十五ルーブル、其内から親睦會の積立金一ルーブルを差引かれ差引六十四ルーブルを家に持つて歸り、住宅の室料十ルーブルを支拂つて残りの五十四ルーブルが彼の毎月の生活費用にあてられて居た。

革命後は料金表(勞銀規定)に一割の引下げが行れたので勞銀収入は五十八ルーブルとなつた、料金表改正引下げの理由としては、勞銀は一割の引下げをするが住宅費は二割の引下げがされる、其他の生活費も低下するやうにしてやる更に革命後の整理がついて來れば料金表を改正し引上げをしてやると云ふのであつた。

それで彼の収入は五十八ルーブルとなつたが、革命後になつてからは色々な名目で牧入から天引される、強制的に購讀させられる共産黨の新聞代の前金、露國國防化學航空協會々費、職業組合員會費、モブル(國際革命闘士救助會)會費、工場委員會維持費、相互扶助基金會費、等々毎月約九ルーブルを収入の内から天引きされる、其他月によつて金額は異なるが外國のストライキ後援寄附金、不作地救助金、博覽會出品後援會寄附金、支那饑饉見舞金、臨時祭寄附金と云つたものが毎月三ルーブル乃至七ルーブル位天引きされる。

住宅の室料は革命後十ルーブルから八ルーブルに引下げられたが、従前室料の外に徴收せられなかつた水道代下水費用共同清潔費等の名目で毎月二ルーブルが徴放され、臨時費として修繕費、運動場整備費、共同室維持費、警備費等の名目にて徴收せられそれを月に平均して見る



と二ルーブル乃至三ルーブルとなつてくる。

二八

其他の生活費もなかく下がらない。

そこで彼は革命前は収入六十五ルーブル天引き一ルーブルと室料十ルーブルを引いた五十四ルーブルで生活費を賄つたものが、革命後は収入五十八ルーブル、天引きされるもの十二乃至十六ルーブル、室料及附属費として十二、三ルーブル差引き三十四ルーブル乃至二十九ルーブルで生活費を賄はねばならなくなつた。

然も料金表の改正引上げは何年たつても實現されない、革命當時共産主義を實施すれば人間が平等経済となつて労働者は多大の利益となる、収入を増して生活を樂にしてやると云はれたのが、反つて収入は減する生活は苦しくなる結果に終つてしまつた、獨り彼のみではない其國營工場内の他の職工も同じなであり、又他の工場の職工なども總てが彼と同じ状態に落ちて居る。

以上は實際の一例である。共産黨が革命當時宣傳した、貴族富豪資本家を無くすると云ふ事は革命と共に實現され、私財が沒收されたから無産者労働者の方は収入が増して生活が樂になつたかと

云へば、さうでは無い労働者は前よりも一層収入は減る生活は苦しくなつて居る、のは不思議な話と思ふであらう。有産者の財産を沒收したからとて忽ち無産者が樂になると思つたら大きな違ひ、財産と云ふものが原始時代であれば魚貝食料品等であるから、それを沒收して分配したとするなら一時的であつても一般が其恵みに與るが、今日の財産と云ふものは食料品日用品など何程かあつても、多くは土地建物とか機械設備とか、資本制下の投資債権などであるから、其財産を沒收したからとて分配される現實物はない。

土地建物機械設備など元々富豪資本家がそれで受益生活をして居つたのであるが、非所有者無産者も等しくそれによつて受益生活をして居り利用の御蔭げを蒙つて居つた、所有者が無くなつたからとて直ちに稼がないで樂をすることは出来ない、矢張り利用し稼がねば生活が出来ないが。

土地があつて地主が無くなれば地代小作料は納めなくてもよいが、收穫を得れば共産主義下では自分の食料以外は取り上げられる。

借家の家主が無くなれば家賃は納めなくても家の維持費はかかる、建物の生命が無くなれば拵へねばならぬ、共産制下で家賃以上の収入が減つて来るなら家賃を出しても収入の多い方が



ましである。

三〇

機械設備がある、所有者が有つても無くても工場で働く職工は働かねばならぬ、資本家の指揮でも共産黨の指揮でも同じである、其機械設備の利用宜しきを得て収益が多ければ職工も収入が多くなるが、共産黨支配下でも利用収益が少なければ職工の収入も少くなる。

所有者が無くなつても稼かねばならぬのは同じである、資本主は自身の慾があるから財産の利用に就いて一生懸命に考案をする、従つて利益(果實)は多く生れるが、共産主義は濫りに理論に走り、人間を機械視し其本能、能力と云ふものを度外視せらるる傾きがあるから、財産の利用と云ふことに満足な能率が上げられない、生み出す利益が少い、當然労働者の収入も少くなる。

資本主が機械器具設備をしたなら、あとは職工が働く製産品が出る販賣して利益が生れる、さうなると資本主と云ふ者は在つても無くても同じではないか、と云はれる。

ところが實社會には同業もある、競走もある原材料取引もあれば販賣取引もある、投資關係をたどつて原料仕入の便を受けたり販賣先きに便益が無ければ利益の増進は圖られない、そこに資本主の働き(主權の能度)によつて資本の収益が増進され資本主が分配を受くべき源が存在するので

ある、新設工場などで創業當時資本關係をたどり電力會社などに交渉し、市價一キロ二錢五厘の電力料を一時特に二錢にまけて貰ふ、電力會社でも多數の内の一部である特例として内密にまけてやる、さうすると其工場は電力料に一キロ五厘の節約が出て製産品の原價が安くなる創業早々でも他と競走上有利となる、利益が増進するそんな實例は幾らもある、此資本主の働きは客觀的には判明せぬから職工が働いて製産し販賣されたから利益が生れたとのみ單純な觀察をすると間違ひが起る、宣傳を頼まれたのでは無いが判り易く一例を挙げる。

子供も知る製菓界の老舗森永製菓と對抗して明治製菓がある、此明治製菓は森永よりはづいと後から生れたのであるが資本關係が明治製糖と云ふ成績優良な會社と同一である爲め、原料の主要品砂糖の仕入れに多大の便益が與へられ製品のコストが或程度迄自由になる特點があるから、老舗森永と肩を並べ市場の競走が出来る、明治製菓が好成绩を収め利益を得ると云つても其原因の一として「資本主の働き」と云ふものを無視することは出来ないであらう。

マルクス式財産の利用は、例へば世界の人口十六億、小島の數が四十八億、或者は一人で五萬も十萬も所有するから一つも所有しない者がある、平等に一人三羽づゝを得せしめよである、それな



ら平等な分配が現實に顯はされるが、機械設備の運轉受益となるとそんなわけに行かぬ、資本家が無くなれば資本主の働きと云ふ利益部分がなくなるのであるがそれ等を打算しないから誤算が生れる。所有権を無くしたからとて職工は働かねばならぬ。

そこで一時共産黨露西亞では、工場内の者全體を平等の待遇とし階級も無くする、勤勞も平等なら賃金も平等とした、ちよつと結構な制度となつた。

ところが重い物を持ち運ぶ係りの者は、門衛がボカンとして居るのを見て重い物の持ち運びはいやだと不平が出る。

冬機關室で暖を取りながら石炭を燃いて居る者を見て、水漕掃除係の者は機關室の仕事がしたいと云ふ。

熟練工は他人の一日分を半日に仕上げ後半日を遊ばせろと云ふ、半日を遊ばせないなら怠けて他人の一日分も仕事をしない。

よけいに働いたとて貰ふ賃金は同じである、なるべく怠けて樂をする、出勤しても缺勤しても賞與が別にあるのでもないから夜ふかしをして朝眠むかつたら頭痛がすると云つて缺勤して

寝た方がよい。

原料や材料整理の單純工も、一年も二年も熟練を要する精密工も待遇が同じなら、熟練工は不平で満足な作業をしない休むことのみを考へる、熟練工が休むところを見ては單純工まで怠けて休む。

結局莫大な生産減、機械設備の利用益は全く出て來ない、待遇平等と云つても能力に従つてやらねばだめだと判つて待遇等差を復活した——資本主義下と同じになつた——

資本主義を毀したのだから、資本主義下の資本主の投資財産……と云つたものは消えて無くなり勿論勞働者に分配しやうとしても分配されない貰らへない。

露西亞の勞働者が革命に際して希望した。

貴族富豪資本家を無くすると云ふ事は成功した、だが其者等が贅たくをする爲め取り上げて居つたと云ふものを、自分の方に取らうとしたが源を毀したのだから取るものは無くなつてゐて取れなかつた。

そして自分は以前よりも苦しくなつてしまつた結果が生れて居る、共産主義下では、要領よく怠



けて遊んで居る方が得策であつて、眞面目に稼ぐ者は馬鹿だとなる、然し要領よく遊んで居る者であつても人間としての慾望慰安は満足することは出来なくて居る。

#### 四、露國國營工場ストライキ騒動

ストライキ騒動が共産制下の露國にあり賃金不拂があると云つたら、意外とするだらうが事實であつて而も近年は常習となつて居る。

ストライキの原因は總て賃金不拂りであつて賃金が一ヶ月遅れるのは珍らしくない、甚だしいのになると三ヶ月も遅れるそれが國營工場であると云ふから驚かざるを得ないだらう、更に又一年に何回とか二つか三つの工場ならまだしも殆んどどの工場が常習であると云ふからマサカと思はせられる、一月分を二月に支拂ふ位いは恕すべし一月分の半額が五月になつても拂はれない、六月になつて漸く支拂はれたと思つたら六月分が月末になつても拂はれない、と云つた工合に繰返し繰返しして常に半月分乃至一ヶ月分位いの賃金が不拂りとなつて居る、ひどいになると二ヶ月分三ヶ月分の不拂りがたまつて居り又一年に一回位い未拂賃金の内半月乃至一ヶ月分が切り捨てられる、と聞

いたら信する人が無いかも知れぬが數ヶ所に働いた者の話しだから事實である、此節は賃金切り捨ても巧妙になつて生活改善委員會費などと名目を付けて賃金の三%乃至四%を徴收し結局一ヶ年に半月分位いの切り捨てをする、と云ふやり方のところが多いらしい。

なせ賃金不拂りを生じて居るか、革命によつて没收された工場も年月を経るに従つて施設が消耗せられ、建物は修繕改築に迫られ機械器具も手入れが必要とされ終ひには新規に取替へを必要とするものが次から次に出て来る、一年は一年と其方の費用が増加して來た爲め遂には賃金支拂に追はれるやうになつたのである。

英國の或著書に「ロシアの共産黨は帝政資本家の遺産を食つて生きて居る」と書かれたのがあつたが其通りである、革命前に設備された工場の機械を運轉して食つて居たのであるが、建物や機械にも生命はある一日毎に一年毎に消耗されて最早十六年、古いものなら既に命數のつきたものもある、そこで工場施設改良復舊費が逐年増大して來たのである。

工場機械の消耗と云ふことは共産黨と雖も知つて居るが、革命後職工全體を平等の待遇として見たら不平等出で統制が出来ず再び待遇に等差を附して働かせることにした、然し彼等職工は資本主



義制度下時代のやうに一生懸命に稼いで溜めて小ブルとなつて後半生を氣樂に過し度い……と云ふことが共産制下では許されないから、働くにも其日々々の御茶をにこして行くよりしかたがない、結果働く能力を十%發揮する人間は全く見られない、茲に生産減の甚大なることは當然となるから賃金の不渡りも出る、従つて設備消耗の補填をする餘裕など全く生れないから何れの工場も設備改良は不行届きである、設備の不完全となつて居るから作業能率を益々低下せしめ露國工業不振生産減の一大原因をなして居る、だから露國は現に農作物收穫減と工業生産減との大きな二つの厄病神に取り付かれ、農民や労働者が極度の苦しみをして居ると共に國家經濟も極度の苦しみ四苦八苦の状態に在るから、北滿洲鐵道（東支鐵道）を滿洲國に賣却交渉中であるが其代金で工場施設の改良費に當て生産増加を圖りたい考へで居る、露國財政の窮迫せる一端を窺ふに足るであらう。

苦しき露西亞の遣り繰り算段もいつまで続け得られるであらうか、大きな疑問であらねばならぬ遂には役人軍人の待遇までも缺陷が生ずる時來らずとは保證されない彼等にもストライキが及ばさずとは斷言されない、窮鼠猫を咬むとやら反共産黨再革命が西比利亞や南露露など支那のやうに地方的獨立の氣運は機會を待ちつつ將來に向つて包まれて居るのである。

ロシアの失敗は總てが嚴秘にされる爲め年月を経て後ちでなければ的確な事實を知ることが出来ない、従つて古い事實ではあるがモスクワ市外織物工場のストライキ騒動を擧げると。

男女職工二千七八百人を使用する織物工場、賃金支拂が半月分滞り一ヶ月分滞りして一年ばかりの間に三ヶ月半分の賃金未拂が出来てしまつた、職工等は物價は上る其日のパン代にも困る者がたくさん出て來るやうな状態となつて、生活不安上からして仕事が手に付かず一ヶ月ばかりの間は怠業状態であつた。

其内に職工の中で俠氣のある者が出て來て二十人ばかりの者が發起人となつて職工總會が運動場に招集された、そんな發起人となれば必ず監獄に入れられる事は承知して居るのであるが多數職工の窮狀見るに忍びずとして、又發起人自身も食ふに困るところから一種の捨鉢的考へも手傳つて二十人ばかりの者は犠牲的に職工總會の發起人となつたのである。

忽ちにし運動場に集つた者は職工全部二千七八百人。  
滞り賃金を即時支拂はれ度し。

パンを得ることを得ざれば仕事を續けることが出來ない。



と満場一致即決をして賃金支拂の要求を申出たのである、工場の所在がモスクワの市外であつて外國人の目に入り易いところから官憲では極度の狼狽をして、政府から宥めの爲めの役人が態々派遣されたが其政府役人の自動車に向つて投石はする、騒ぎはなか／＼以て納まらな  
い政府役人も其まま逃げて歸へり政府では早速善後策の閣議が開かれ、算段をして其翌日の夜になつて漸く一ヶ月分の賃金が支拂はれて鎮靜したのである。

だが二十人ばかりの發起人と首魁と見られた者七八十名が逮捕され裁判所に廻され、何れも二年から三年五年の刑を言渡され西比利亞のナリームと云ふ地方の監獄に流刑にされた。

露西亞に於ける労働運動は共産黨の指揮する國際的示威行列運動の外總てが絶対に禁止され労働者の自由など夢にも見られない、工場は平素怠業氣分の作業ではあるが積極的に賃金支拂を要求しストライキを起す發起人など必ず監獄に行くことを承知してやる、一種の自暴自棄であつていかに彼等労働者の生活が不安であるかを察することが出来やう。

## 五、一億三千万の露國農民の生命

農漁村一億三千万人を擁して居るが故に勞農ロシアと稱せらるる、彼等農民の生命が自然の命數を保ち得ない迄に生活が不安だとしたら、獨りロシアの問題で無く世界的人道の問題である、革命當時共産黨が農民に向つての宣傳では、

農民の國ロシアである共産主義を實施して農民に此上ない幸福を與へてやる、土地の所有權は無くなるが耕作は従前の耕作者にやらせる、大地主の所有地と膨大な御料地は全部公平に分割して農民の耕作に與へてやる。

と云ふのであつた、それで革命後沒收した大地主の土地と御料地はどうなつたか。

露國政府の統計によれば、國營の農場家畜育成所穀類配分所等公共機關に便用されたものが……五%。

農民の耕作に移したもの……五五%。

其他一時國の管理に屬する山野等を合せたもの……四〇%。



と云はれて居るが、其數字も正確であるや否や又農民の耕作に移したものの五五%なるものも、革命の功勞者である地方黨員の手によつて莫大な權利金やうのものを徴收して富裕な農民の手に渡されたものが甚だ少くないとの話がある。富豪の邸宅別荘と云ふやうなものも一部公衆用とされた残りには之れ又革命の功勞者たる黨員に對し終身使用の權利として提供されて居る。

農民から耕作税が徴收されるが之れは地方によつて異なると云はれ筆者未だ其正確なる率を知らないが、革命前に比し決して減税でないことを信ずる、減税でないことを推測し信ずる理由としては、昔日本でも悪税なりとして問題となつた「天秤棒税」と同じやうな農具税とも云ふ可き税が耕作税の外に課せられて居るのを見てわかる。

クーバンと云ふ地方では農民が其有するところの牝牛一頭に付き一ヶ月バター二封度及チーズ五封度。

雌鶏一羽に付き一ヶ月卵三個。

牛一頭に付き毎年肉十封度（之れは前示牝牛に對する毎月の賦課と重課する）。

豚三頭に付き毎年一頭。

羊三頭に付き毎年一頭（之れは近年廢止せられたらしい）。

右のやうな苛酷な税を課する、耕作税の率が革命前に比して減税でないことは確實と見るべきである、それで少しく裕福な農民と見れば種々な名目を付けて重き課税をしたり獻金の強要をすることも事實である。

であるから耕作權を有する土地を相當にもつて居る農家でも成るべく多くの耕作をしないやうにして居る、耕地改良の如き勿論しないのである、假りに一生懸命で耕地に作付けをして多くの收穫を得ても自家の食料の分を除いた外は全部強制的に買上げられる、穀物の多くを買上げられた者は裕福な者として種々の名目で課税せられたり黨の諸機關の寄附金を強制的に割付けられたりするから、結局澤山の收穫を得ても身につくものが無くなるのである。

千九百二十八年四月十九日（或は二十九日であるかも知れぬ）穀物自由取引禁止令と云ふのが發布されて自由賣買が許され無くなつたから、以來餘剩穀物の賣却高を隠すことが出来なくなつた。

斯くして農民は農地改良は勿論努力をして充分の收穫を得やうとする心が全く無くなつたのであ



るから、露國の農産物は年々歳々收穫減となつて來た。

革命前の露西亞から輸出された穀類は八百萬噸前後であつた。

革命後十年にしてそれが二百五十萬噸に減じ。

同十三年後に於て百萬噸に減じ。

最近は僅かに四十六萬噸となつた。

此數字によつて收穫減は雄辯に證明せられる。

收穫減の反面課税の方は革命前にも増して増徴され更に其税額が逐年増加せられて居る、古い統ではあるが千九百二十七年十二月十八日のブラウダ紙上によると、地方に於ける國稅市町村税の總額年表。

一九二三年——一九二四年	五億五千七百萬ルーブル
一九二四年——一九二五年	七億二千八百萬ルーブル
一九二五年——一九二六年	九億二千五百萬ルーブル
一九二六年——一九二七年	十億ルーブル以上

此のやうに徵税額は逐年増加されて行くが餘剩穀物の國外輸出は年を追ふて減少して行くから總收穫は逐年減少である「收穫は逐年減少し税額は逐年増加される」農家の苦痛は推して知ることが出来るではないか、農民の生活は勞働者にも劣らぬ悲惨である。

西比利亞鐵道で旅行した人は見たであらう、列車の窓から沿線を、そして農民の總てが榮養不良な顔をして居るのを……満足な着物を着て居る者が無いのを……履物など無く裸足で居る者が多いのを……哀れな顔をして居るのを、見たであらう何んと感じたか、諸氏よ其有様を日本の國民に語つて聞かせ給へ。

生活悲惨なればこそ農民一揆がのべつに起つて居る、農村は共產黨員である役人と憲兵のピストルや銃劍で守られ青年共產聯盟と云ふ二百四十萬人の密偵が居るから、政府や共產黨の悪口は勿論政策の不滿など一切言はれない、若しもそんな者があれば忽ち監獄に入れられるか銃殺される、であるから農民は政府に絶対服従して居る、にもかゝらず農民が一揆を起すと云ふことはヨク／＼の場合でなければならぬ。

農民一揆など國外に知れないやうに政府は極度に警戒して居るが一揆の起る數が多いから年月を



經るに従つて自然國外に知られる、一例を示せば。

四四

悲道な徴税が原因となつた一撥（一撥の殆んどは徴税に關してである）高架索のロゼストウ エンスカヤ村が非常な凶作に見舞はれて租税の全納をすることが困難であつた、そこで村民總會を開き稅務公署に減税の嘆願をしたのである、すると稅務公署では減税を許さなければかりか期限までに全納をしなければ強制執行をするとの申渡しであつた、然し村民は税金どころか凶作の爲め次の收穫期迄を維持する食料さへ無い者が多かつたのであるから期限になつても税金は支拂はれなかつた、期限後一週間を過ぎて稅務署の役人と憲兵が二十人ばかり出張し村民全體に對し強制執行を始め、村民の主だつた者多數を人質として捕縛し。

税金を二十四時間以内に全納しなければ人質の内五人目五人目の者を各銃殺をする。

と申渡したのである、憐れなる村民は各自の持ち合せを集めて役人に提供したのであつたが税金の總額よりも不足であつた。

人質の内何人かが遂に銃殺された。

そこで一撥が爆發して全村民が立ち、派遣されて居る稅務役人と憲兵二十名ばかりの内十六

七名を虐殺して人質とされて居る村民を取り戻してしまつた、残つた二三名の役人が其村から約六里離れて居るチチヨレツカヤの稅務公署に急報し、赤衛軍の出勤となり二個の列車に滿載された兵隊がロゼストウエンスカヤ村に急派され……多數の村民が銃殺され銃殺を免れた者の内主立つた者數十名は捕縛され、即決裁判でシベリヤ又はソロキエツキー島に三年五年八年の刑を言渡され流刑に處せられた。

銃殺されたり流刑された者の財産が競賣され其収入は租税の不足額に充當された。此處まで讀んで若しも「それは露西亞の事である」などと平氣な顔をする者があつたら汝は人道を知らざる血の氣の無い人間である、汝は死して必ずや天罰を受くるであらう、汝よ！ 汝と雖も人間が地球の上に生を得て死あることは否認せざるであらう、然し汝は死しては無と云ふであらうが「無」を絶対に信ずることは出来まい、死しても靈は有である、不幸にして現代唯物觀念にのみ走り科學の研究は絶大の進歩を見て居るが靈精神の研究は益々退歩の状態に在るが故に、汝は身勝手に無と斷ずるのである、地球太陽星が存在の理を想へ「靈」有としたらどうである、汝は現世に高位高官となり或は巨萬の財を集め又は詐欺を働き人情を無視し道德を破壊し贅澤三昧に泰平樂に思ひのまゝの生活をつ

四五



四六  
づけ露國農民の悲惨事など他山の火事と見て……も必ず汝は死に到達する、因果應報靈となつて汝は苛しやくの責を受くるであらう。

數知れの露國の農民一撥其殆んどが税に關してである、銃殺流刑を承知して居て一撥の原因は税である、彼農民自身の食料が満足でないことが推測される、食料に満足を得られない彼農民の衣類は！住居は！全農民の六〇%以上は土人生活と云ふか蕃人生活と云ふか全く原始的な生活状態に在る。

何人が露國農民をさうさせたのであるか？ 共產黨か？ 否々さにあらず、共產主義の根本缺陷が共產黨をして誤まらせたが爲めに外ならない。

## 六、王座のファツシヨ共產黨役人

伊太利のムツソリーニ獨逸のヒットラー共にファツシヨ政治だと云はれるが、國民の依頼により民意に基づいて行はれるのであつて民意を無視して行ふのでは無い、去る十一月十四日ムツソリーニは「無意味な下院を廢止しギルド主義による新機構を以てする決意をした」と發表して居るが、現

在の下院の代りにギルト社會主義職分別組合式諮問又は立法機關を設けると云ふのであつて、方法は違つても矢張り民意を聞いてやる政治である、ヒットラーにしても軍縮會議國際聯盟から脫退した事に就いて直ちに議會を解散し十一月十二日を以て總選舉と一般人民投票を行ひ。其賛否と信任投票を求めて居る。

### 政府信任投票の結果

投票 總 數……………四三、四三九、〇四六  
信任賛成票……………四〇、五八八、八〇四  
信任反對票……………二、一〇〇、一八一  
無 效 票……………七五〇、〇六一

### 國會總選舉の結果

投票 總 數……………四二、九七五、〇〇九  
ナチス(政府黨)得票……………三九、六二六、六四七  
非ナチス得票……………〇



無 效 票……………三、三四八、三六一

四八

と云ふ國民絶對多數の信認を得て居り、國民の信賴と其意によつて行ふ政治である、ファツシヨと云つても民意による政治である。

ところが露國共產黨はどうであるか、革命當時に於ては國民多數の贊同を得て共產黨政府政治に委ねられたに違いないから當時は民意に基くのである、其後黨員全部で役人と國家の諸機關を獨占しファツシヨ政治を行ふた迄では善であらう、後に共產主義の缺陷に禍されて失敗に失敗を重ね瀾の途なく、と云つて今更主義と地位をすてることには未練があつて出来ない、まゝよとばかり暴政暴君と化し來つたのであつて以來王座の惡ファツシヨと云ふ可きである。

露國の男女役人五十五萬人密偵として働く青年共產聯盟二百四十萬人軍人百十萬人合計四百五萬人の共產黨によつて一切の政治が行はれる、人口一億六千九百萬人の二分四厘(千人の内二十四人)の割合であるから假りに二千人の町には四十八人の役人軍人密偵が居つて、銃と劍で其庶民を保護して居るのである。

役人など勿論政府の給與で生活は絶對に保障され、農民労働者がパンに追はれ外套を求むるとこ

ろか寒空に裸足で居る時でも、軍人に支給される外套は純毛毛皮付きである、慰安劇場の特等席は全部役人と其家族である、露國では「黨員様」と呼ぶ役人様様である、階級を打破したと云ふ共產黨階級をつくつて居る役人も軍人にも階級がある手近いところで日本に在る大使館にも大使だの書記官だの書記生だの階級があつて待遇の違ふのはだれでも知つて居らう、先天的に各々能力の違つた人間が多數生存するのに階級を無くするなどは不可能の事である、共產黨も口に打破と云つて實行は出来ないではないか、そして階級の甚だしいものに露國農民労働者の庶民と役人との間に嚴然たるものをつくつて居る、北極に近い極寒の地一方は薄衣に空腹を抱え裸足で暴政の壓迫に絶對服従の苦しみを受け、一方は純毛毛皮付の外套を着て劍を以て惡税を徴し白いパンを喰つて居る、之れ程大きい階級の相違は世界の文明國の中には見られない。

此大きな階級を存して居るから其政治實狀が外國に知られることを恐れ、國民が外國人と親しく話しすることすら禁じて居る、或英國人が汽車中の食堂車内に帽子を置き忘れて出て行くのを一露國人が見つけて、其帽子を以つて食堂車の入口まで追いかけて英國人に渡した、英國人は露語が話せる爲め禮を述べて二三語問答をしたところが夫れを知つた車中警戒役人は直ちに其露國人を取り



押へて、汽車が次の驛に着くと下車を命じ其驛に居る役人に引渡したのである。其露國人は監獄のパンを喰はされたであらう、そんな實例がたくさんある役人は絶對的の權能を以つて居る、そんな露國であるから日本人などで行つて來た者でも親しく國民の生活状態なり政治の模様を視察して來た者は一人もあるまい。

外國人がモスクワに着く投宿する旅券は旅館の手から直ちに警察廳に送られる、其旅券はモスクワを出發する日でなければ返されないからモスクワ滞在中自由に各所に行くことすら出來ない、案内人は政府で養成した案内人に限られそして、豫め政府から定められて居る場所でなければ案内せぬ、此處が見たい彼所が見たいと云つても案内しない、案内人無しで工場や其他に行つても見せて呉れないモスクワ見物と云つても政府が特定して居るところだけ言をかへれば外國人に見せてもよいところ、立派なところだけである、工場を見に行つても其形を見せられ役人の説明を聞いて來るだけで、職工を捉へて親しく其感想なり生活状態なりを聞くことは出來ない、黙々として動いて居る設備と職工を見るだけであるから労働者の眞の状態は判明せぬ、案内人は一日の案内が終ると案内した場所と時間案内させた外國人の様子等を直ちに警察廳に報告をする、旅館からも毎日客の動

靜、何時に出かけ何時に歸り何人が訪ねて來て何時間話した、と警察廳に報告する、旅館には刑事が見張りをして居て客が外出をするると合鍵で室内に入り所持品の検査をする、外國人の郵便物は嚴重な検閲があつて封書の封でさえ精巧な機械を設備して居て一度開封される、共產黨の悪口でも書いたら直ちに沒收となる。

斯んな露國に何ヶ月滞在しても眞の状態は知られない、彼地に行つて來た者が彼地の學校がどうの病院がどうの託兒所がどうのと云つて吹聴する人間の話しは相當注意して聞かねばならない、廣い露西亞である庶民の泣く暴政治下であつても外國人に見せる爲めの學校の一つや託兒所の一つ位立派なものがあるに相違ない、形を見て氣を知ることとは出來ない美人は烈婦なりと即斷は許さない、外國人に見せるものを態と拵へて置くのが共產黨である、見せるものを特定して置くことも、其他のものが「随分ひどいもの」との反證となる彼は「詐欺師」の手である。

第二次日本共產黨の頭目佐野學の如き何年かモスクワに生活して來て居るが、國營工場の賃銀不拂だの農民一撥の眞相だの悲惨な農民労働者の生活状態は見せられない、聞かされない知らされな



露國役人の「詐欺師」に近い例を一つ挙げやう、昭和八年春上野と芝浦に婦人子供博覽會があつた時露西亞からの出品を見たであらう、兒童教育上の資料なか／＼捨て難いものもあつた、だがあの玩具などが露國の兒童に與へられて居るものだと思つたら大出違ひ、日本の博覽會に出品する爲め態と頭をしぼつて造つて來たのだから驚く、證人も居る、先年モスクワに教育機關視察に行つて來た人岸邊福雄氏である同氏に聞いたところによると。

博覽會に立派な大きな積木などが出品されてあるが、自分がモスクワ見學の時は何所に行つても使つて居るのも賣つて居るのもあんな立派なものゝの在るのを見なかつた、見せられなかつた。

と言明された露國が外國人に見せて自慢をするやうな學校なり託兒所なり幼稚園なりに無い玩具が日本の博覽會には出品されて居る、之れを「詐欺師」と云ふて憚らないであらう。

露國の役人は惡フアツショ政治を行ひ特權階級となつて居るが、大臣とか次官と云つた地位に在る役人など一個何バンドと云ふやうな高價な紅茶茶碗を使用したり、何萬フランに價する花さしを使用したり其贅澤振りは英國や佛蘭西あたりの王侯貴族以上である、彼が共產主義の家元であり

階級打破の本案であると云ふのだから驚かされる、そんなところから生れ出て來るコミンテルンの宣傳を各國の人間の或者などが眞劍になつて信心をする……櫓で炬燵に入つてブラチナの笛を吹いて楽しんで居るのに、素足で向鉢巻をして一生懸命眞劍になつて雪の上で踊る者が在る……のだから十六億の人間は矢張り十六億の個性の相違がある、昔から狐にばかされる者は馬鹿と伶俐の間の人間だと云ふが、マルクス主義など少々位讀んだ人間が多くコミンテルンの宣傳に引懸つて居る。

## 七、露國共產黨の運命

共產黨必ずしも惡人惡黨ではない、好んで農民に惡税を課して苦しみ賃銀不拂收入減とさせて労働者を苦しめんとするものではないであらう、性は善なり苦しむるを欲するにあらず「ざるを得ざる」のである、出來るなれば革命前にも増して農民を豊かならしめ労働者にも安らかな生活をさせたいのである、革命に際しても共產主義を實施して庶民の安堵を希ふたであらう、然し此希望が達せられなかつたのであつて罪や獨り共產黨のみに歸すべきでない、共產主義の根本に缺陷があり實



施に其欲するところの能率、効果が得られず共産黨を失望せしめ悪名を忍んで秕政を行ひ強いて跡始末を有利になさんとするものと看ることが、適正な觀察であり深く左様に信するものである。

庶民を平等に働かせやうと思つても出来ない平等の待遇をすれば優者に不平が出る、自由意思を尊重すれば物の隠匿をしたりナマケ者が出て統制が出来ない、甘くすれば付け上り嚴にすれば萎縮する之れが人間の本能である。結局共産主義の理論は理論だけであつて徹底的に實施が出来ないのであつた、元來理論を作り上げるのに大きな見落し？ 人間の能力は萬人萬差があり利己慾個性の統一が出来ないこと！ 則ち人間の能力、慾望、個性は絶対に統一が不可能であることを共産主義の理論は見逃して居つた、其缺陷が共産黨を誤ませたのである世界人類によき教訓を與へて居る、共産黨の辯解的政策的宣傳に超越し其失敗の跡を検討して共産主義の研究は致さるべきであらう。

ドロボウにも三分の理あり失敗した共産黨今更缺陷を自白する雅量を有せず、行き懸りに捉はれ自己の不明を覆ひつゝある、穀類は逐年減少して稅收を減ずる増稅して穴埋をするから惡稅となる情け者が出る機械は消耗する生産減となる收入減となる、收入減となるから工場設備改善は遅れる

益と能率は低下する益と收入は減ずる賃銀を下げる不渡りとなる、所謂帝政資本家の遺産を喰ひ潰したら行詰りが必ず出る、破産も遠き將來ではあるまい。

苦しき遣り繰り算段、自分が苦しんで居ると他人の豊かなる平和は心よしとは思はない。

自分が他人と同じ地位に向上するか、然らざれば他人を自分と同じ地位に落して、自分も他人も同じ地位になりたい。

との望みは必然の慾望である、共産黨は自らは打開向上の望みなきことを知つて居る更に共産主義の缺陷は自分は體驗で知つても他では知らないのであるから、革命成功當時の味を忘れず扱てこそ他を自分と同じ地位に落さうとして共産主義國際社會黨（コミンテルン）の名を以て能書きを宣傳して各國の革命を煽動するのである。

甘いと思つて喰つた菓子で案外下痢を起し衰弱した身體になつて置きながら、共産黨は他人の健康を羨み其菓子を他人に勧めて喰はせようとするもの、そんな菓子は日光によく晒らして檢分の必要があるのに各國の政府は「其菓子は危険だ」とばかりで小供に見せないことにするから、甘いものゝ好きな小供は珍らしがつて盗んで見る、一寸甘まさうだから口に入れて下痢をやるのである、須く



そんな菓子ほ此處に毒ありと小供によく知らせで置く必要があらう。

五六

百十萬人の軍人を擁して居る露國も他國と戦争が出来ない立場に置かれて居る、軍隊は國民の通商貿易を保護すると云ふのではなくて國民の保護をして共產黨を護ると云ふ重要な役目をして居る國外出兵乃至一方面に軍隊集中をしたら國民の保護？は手薄となり其所から恐るべき一撥乃至再革命が勃發しないとも限られない、露國軍隊高等策戦上の「假想敵」は國外にあらず國內に在り、と云ふ特筆せらるべきものである、であるから露國は各國と不侵略條約の締結に大わらはとなつて居るではないか。

不可侵條約？抑も不可思議條約ではないか、世界の何所の國が侵略をしますと云ふものがあるか、遺般米露國交復活に際する不侵略條約なるものにも。

一、相互にその領土主權を尊重し相侵さざること。

二、武力を以て占領せられたる土地の不承認。

三、國際貿易に於ける公正なる競争を維持し報復關稅の如きものを禁ずること。

とあるがそんな文句は條約としなくとも當り前のこと、侵略と云へば喧嘩である吾々が喧嘩はしな

いと約束をしても一方が不合理な暴をすれば矢張り喧嘩となる、相互に尊重し德義を守つて居れば條約が無くても喧嘩とならない、輕氣球時代の古い國際條約に「空中から爆彈等を投下しない」と云ふのがあるが歐洲大戰以來空中から爆彈投下するのが主なる戦争手段となつて古い國際條約などいつの間にか空文と化して居る、報復關稅など云つてもロンドン世界經濟會議が失敗するやうではあてにならぬ。

スターリン政權統一以來露國が各國に對する革命煽動が下火となつて緩和され國內政策——國內社會主義建設に集中された——など云はれたが決して國外宣傳が緩和されたのでは無く、國內狀勢が一撥の續出等で非共產黨熱が盛り出し其地位が危險となり國內對策が一層の多忙を極むるに至つたが爲めであつて、何等かの機會に再革命か乃至西比利亞其他地方的獨立の機運を包んで居る、さればこそ滿洲國獨立日滿協定以來西比利亞關係で極度に日本を疑ふに至つたのである、米露國交復活の如きも勿論同じ穴の貉同志が日本牽制の目的にて急いで成立せられたに過ぎない。

## 八、職業婦人、女學生、インテリ—女性よ



コミンテルンが日本に手を延した始めは労働者目標であつたが次にはインテリ―學生層に働きかけ或程度の能率を上げた時日本官憲數次の檢舉となつたのである、それで日本に見切りをつけるかと云へばなか／＼以てさにあらず、峠を登るのに苦勞してヤレ／＼項上だと安心は禁物、峠を下るのは樂だと云つても油断をすると雨上りの下り坂は谷底に陥落する惧れがある、安心は出来ない。

日本の共産黨事件に關係した女性は殆んどが夫であるとか、愛人關係等で男に引づられて關係したもので事件の中に女性が可なり多かつたところから、コミンテルンは日本の女性に期待の目を向けて居るのではないかと思はれるところがある。職業婦人の數が非常に多くなつてきた日本ムスメに目をつけるのである女給諸裙ダンサータイピスト事務嬢や女學生に働きかけ、婦人の力を借りて男子を操縦しやうと云ふのである、ハイヒールの底にフェルト草履の裏に爆彈の仕かけをしやうと圖つて居る、諸嬢の注意が促して置きたい。

婦人子供博覽會の出品に名をかりて出かけて来て、自分の國の子供に見せたこともない立派な玩具を作つて来て出品し、暗に自國兒童の幸福を吹聴に來たのであるが露國公私經濟の行き詰りは、パンに衣類に先決問題山の如しと云ふ状態であつて兒童の玩具などを考慮する餘裕は夢にも無いの

である。であるから露國の玩具なるものは極めて貧弱で日本などでは思ひ及ぼすことの出来ない位貧弱であることは其道の専門家がモスクワを見て來て證明して居るところである、だのに態々新らしき玩具を拵へて出品に來る目的は出品にあらずであらう、ついで來た露國人が教育家なりとして一言に片づけることは出来ない。

婦人子供博覽會と云ふ名の爲めに日本の婦人子供の研究に來たのである、一般出品物により又實社會に於ける婦人の動き、好み、性格、職業状態を調査するのが彼の目的である、日本婦人の動的靜的状态を調査し間隙を見つけていかにして日本婦人を捕りよとすべき「スキ」ありやを知らむとするのである、甘い菓子と與へてコミンテルンの「トリコ」とする研究に來たのである、諸嬢よバンドの紐を堅くしめよ而して宣傳を盲信せず共産主義とは學說理論であつて、共産黨とは政黨である位の知識を養つて置いて貰いたい。

若しも共産主義の理論を徹底的に實施したならどうなる、人間の階級を無くし國民全體が平等となり平等に働き平等の生活をする、となると個人商店やダンスホールも活動館劇場も營業としてのものは無くなる、食物配給所が出来る被服配給所を設け下駄靴の配給所も出来る、三度三度の食事



も平等に給與される被服も軍隊式なら劇場も年に何回か順番に見物する、今日は天ぶらが喰ひたい今夜はカフェーにダンスホールにと云つてもそれは自由に許されない、一人だけ乃至一部の人だけが受くる慰安は平等を缺ぐから許さない、配給所から来るコーヒが少いと云つても昨日も今日も豆腐汁は喰ひ飽きたと、云つても眞珠の髪飾りが付け度いと云つても自分だけつけられない一ヶ月分の口紅を半月に使つて仕舞へばあとは半月口紅が使へない。

諸嬢よそれで吾々人間は人間としての慰安が満足されるだらうか、生き甲斐ありと云はれるだらうか、養豚場の豚の一團と同じ生活となつて萬物の長で無く萬物の並とならねばならない。

いくら共産主義の理論だとしてそんな馬鹿なことがあるものか、と云はれるだらうが共産主義の徹底となるならさうなるのである、だから露國でも徹底的實施が出来ないで中途半端な制度を行ふて居るから政府も國民も非常な苦しみ陥入つて居る、經濟學とかマルクス論とかの書を読んだ人もあらうが學說のほんの一節僅少部分の學說などを讀んでカブレをすると危険である諸嬢が教はつたり讀んだりするのは假令ばマルクスのプロレタリアの定義。

プロレタリアとは經濟上では「資本」を生産し且つ増殖し、さうして「資本君」の價值増殖欲に

對して過剰となるや否哉、直ちに街頭に投げ出されるところのかの賃労働者を意味する。

などと云ふところを數十頁に書かれたものを読むであらう、此一節などは資本と勞力は車の兩輪の如しと云ふマルクスが資本の發源と云ふものを失念し勞力主に先入主となつて書かれたが爲めに此やうな文句を作り上げて居るのである、諸嬢の勉強や研究可なりであるがピッコの研究のまゝで振り廻はすと間違ひが起ることを注意して貰いたい。

共産主義の理論必ずしも全部が悪いのではないが其大本を徹底させたなら前述のやうな結果が生れ出るのである、共産主義だとして食物や着物まで現品平等支給でなくとも現在のやうに通貨で各人に給與し、それで各人の自由なものを喰はせ自由な着物を着せてよいではないか、と云ふだらうそこである、毎月受取つただけ使つてしまふ者もある食物を節約して三ヶ月に一回箱根に行く人もある着物も節約し食物は味噌汁だけで十年間死んだつもりで稼いで貯蓄しそれから先きは一生遊んで喰つて行きたい人も出て来るそれでは「汝は不都合である喰ふものも喰はず着る物も着ないで受取つた賃銀を貯蓄しブルジョアとなり後半生を遊んで生活するとはケシカラン」と云ふことが出来るであらうか？ そしたら元の資本主義に戻らねばならないではないか。



資本主義萬全では無いが改善々用したら一番無難である、共産主義などに比したら數十等勝つて居る、あまり専門的に走るのは書齋の外であり紙上の餘裕も無いが要するにコミンテルンの宣傳する共産主義は共産黨それ自身でも徹底的實施が出来ないで失敗して居る、失敗したものが宣傳する不可解である、甘い言葉を盲信したり戀愛關係から火の中に飛び込めたり、淺慮から自分の一生をあやまらないだけの精神修養がして欲しいのである。

### 九、鰻屋鰻の味を知らず

人間の自尊心と云ふのか腹の中では、「悪るかつた」と思つても扱て綺麗いさつぱりと「悪かつた」と外に出せないのが人情の弱點、そこになると往年の「江戸つ子」は臍月の鯉の吹き流しと云つて竹を割つたやうに腹の中をサラケ出すのが男であるとして慕はれたのであつた。

日本の共産黨事件で召喚された者幾萬人の内檢舉された者一萬人、起訴猶豫の恩典に浴した者もあり彼等の多數が「轉向」と云つて自分の非を悟り改めた、中には罪を軽くして貰ふ爲めの政略から轉向を表明した者もあるが既に悪いと云ふことを知つて居つても引きづられながら轉向の機會を得

なかつた者が檢舉を機會に轉向を誓約した者が多いのである、一度共産黨に足を踏み込んだが後で「悪い」と知つてもそこが騎虎の勢い、行きがかりに捉はれて腹の中をサラケ出せないで引きづられるのである、それ等を説得して眞の腹の中の「悪かつた」をサラケ出させるまでには警察官なり検事に人間味の隠れたる苦心の存在を忘れてはならぬ、検事と云へば鬼のやうに思ふて居るが國家の安寧秩序を維持するところの法律の嚴正なる代辯者として職務上の検事は一點の私心を許されぬ鬼であるが、社會の裏面人間の裏道を何人よりもよく知つて居る検事は人間愛に於ても又何人よりも厚いのである、検事の人間愛に引かされて被告が轉向をする、さうすると其被告の判決は必ず輕くなるだとする検事の人間愛の結果が被告の罪を輕くしたことになるではないか、法廷の論告のみを見て検事の總てを斷じてはいけない何事によらずさうであるよく研究しよく知ることが必要、共産主義共産黨また然りとするのである。

讀者よ、若しも自分の一族か知り合に犯罪者として檢舉された者か、乃至は檢舉されなくとも悪いことをして居るのを知つたならば引込み思案やもみ消しなどと逡巡して居てはいけない、早速裁判所に出かけて行きどの検事にでもよろしい面會して一度よく善後策を相談して見たまへ、必ず



や検事の人情味原きことに驚ろかされるだらう、それが本人の爲め社會の爲め多大な幸福となるのである。

第二次日本共産黨の御大、佐野學と鍋山貞親の兩名が去る六月七日轉向を表明し轉向時代なるものが展開せられた。或者は彼等は氣が狂つたのだらうなどと云つた者もあつたが、彼等も日本人である既に其非を悟つて居つたのであつたが自分の周圍の關係や行きがかりの爲め「臯月の鯉の吹き流し」となれなくて居つたのであらう、遲蒔きながら轉向するに至つたことは喜ぶべしであるが、筆者に云はせたら更に今一步眞の腹の中から男らしく急角度の轉向がして貰ひたい、社會の爲め世界人類共存共榮の爲め欲してやまない。

去る十一月五日モスクワで死亡したセン・カタヤマとして知られる片山潜、生來頑固片意地の人で瘦我慢をしながら主義の研究と云ふ名に於て久しく共産黨の一員としてモスクワに滞在し、共産主義の理論其もの研究については進歩して居たであらうが共産黨の實際政治の失態、實施から生れる缺陷理論を脱した實際などについては凡らく知ることが出来ないで居たであらう、燈臺下暗しである、嚴秘主義の共産黨政府の臺所に居つたのでは反つて知る能はずである、富士山の五合目に

居つて五合目の夕立の様子は知つても富士全山の模様は知られない駿河灣相模灣の沖からこそ富士の雄は見られる、共産黨が共産主義實施の功罪は國外に在つてこそ始めて知ることが出来る、露國の新聞も雑誌も非共産黨のものは一つもなく失政を書かれたもの一行も見出すことが出来ない、農民一撥も工場賃金不渡りも其關係役人以外には嚴秘にされる其中に居たセン・カタヤマ、農民一撥も工場賃金不渡りも一向に聞くことの出来ない聞かされない知らぬが佛で居たのであらう、其片山潜が近親者である岡山縣津山市大圓寺住職清田寂坦和尚の手許に送つて來た最近の手紙に「郷土誌の研究を續けて居る、五十年相見ぬ故郷の事物を想ひ起して居る」と書かれてある、彼が眞の腹の中には日本の國體美家族制度の日本人の相互愛が超越無比であることを年と共に悟り、共産主義の非を自覺して居つたのであるが行きがかりと云ふ人間の弱點を打破することが出来ないで逡巡して居つたものなることが此短文の内に「アリアリ」と見ることが出来るではないか、功名心から無暗と尖端的に走つて大衆の人氣を博さうなどと？ それもよからうが根本に於て實社會に不適富なもの！ 表紙が綺麗いで中味は粗雑な縁日で人寄せをして賣る何かの本のやうなものを、無價値と知りつつ己を僞り世を欺くことは道德上からしても罪人である、吾人は轉ばぬ前きに用心すべき



であらう。

佐野學鍋山貞親の兩名轉向明聲書として連名で發表されたものは吾々が轉ばぬ前きの參考として一投石を與へたものであらう、聲明書中にコミンテルン等の態度が變つて來たからそれと分離すると云つた文句があるが、コミンテルン等は始めから其態度であつたことを先づ明記して置く始めからさうであるが、そこが始めは行きがかりに捉はれて居たのであると確信する、若し共產黨の宣傳に乗らうとする者があつたら此聲明書を一讀せよそして過ちを一步前に止めて幸福なれである、冗文だが聲明書を摘出する。

第一に現在の共產黨が次第に労働階級の黨でなくなり眞の労働者の關心及闘争の外に立つに至つたこと、第二にコミンタイン（コミンテルンのこと）が諸國の労働階級の生活及び闘争から離れ去り其國際主義の破綻しつゝあること、第三に接近せる戦争情勢に對しコミンタインが日本の黨に課する敗戦政策の日本民族及労働者に有害なること、この三主要理由によつて吾々はコミンタインとの分離を主張する。

コミンタインは初期の活氣を失ひその中央集權制は官僚主義に蝕ばまれ時所と條件を問はず徒らにロシア革命を強要し、其國際主義は機械化し事實に於て蘇聯邦一國の機關化してゐる（中略）コミンタインはその内部的矛盾よりして新らしき世界戦争と共に互解する必然がある、われ／＼は十一年以來その陣營の爲め全生命を獻げてきたがもはや其態度を持續することが日本の労働階級に忠なる所以でないのを確信するに至つた。

戦争についてコミンタインのアナキスト的敗戦主義に反對する、日本の支那軍閥及びアメリカ資本に對する戦争は進歩的である、戦争と内部改革とは必然に結合する、労働階級は戦争に際して不可避に必要となる、生産機構の労働管理及び人民武装の基礎に於て戦争は積極的に参加すべく、戦争には必ず勝たねばならぬことを主張する。

新世界戦争の主要内容は世界資本主義と、アジア諸民族との闘争であるが故に、日本労働者はアジアの勤勞者人民の先頭に立つ任務がある、現下の状態の下において蘇聯邦及支那ソビエト政府に對する戦争は進歩的でもなく得策でもない。

われ／＼は抽象的な國際主義によらず、日本を中心とする一國的社會主義の實現に努力すべきである、世界史の主要な個々の大なる經濟體係内に個別的に社會主義の成立する必然がある



日本民族はその強固な民族的統一、國家生活の訓練、勞働者のすぐれた生産性、東洋文明の蓄積、高度の經濟的文化的發達、歴史上に一度も奴隸生活をしなかつたこと、等の優秀な資力により卓越した社會主義を獨創的に建設する能力あるを確信する。

日本君主制をロシアのツァーリスムと同視する黨の反君主闘争が誤謬であるのをみとめる、日本の君主制は民族的統一を表現してゐる、われわれは大衆が君主制に對してもつ自然的感情をありのままに翫捉する必要がある。

コミンタインの殖民地國家分離の政策は誤謬である、われわれは殖民地に對する資本主義的搾取を、日本民族に對する汚辱として排撃すると共に、日滿朝鮮動勞民衆に結合する巨大の社會主義國家の成立のために努力する。

左翼勞働者運動の一切の分野はコミンタインの影響から組織的に離れ、その内部の小ブルジョア要素の氾濫を整理し、日本を中心とする一國家的社會主義の建設を明確の目標として再編制されるべきである、日本共產黨はその非民族的綱領を抛棄し、コミンタインと決然と離れ、日滿朝鮮のプロレタリア前衛の結合するものに變らねばならぬ、當面の主要任務は農業問題の解

決にある、われわれは新らしき所信を勞働階級に特に現在の黨同志及び全協同志に訴ふ。

昭和八年六月七日、於市ヶ谷刑務所、佐野學、鍋山貞親。

と云ふのである、兩名は久しくコミンテルンの一員として國を忘れ彼が渦中にあつて、コミンテルンの内面的事情に通じて居ることについては右に出ずる者はないかも知れぬ、此兩名にして日本の國體日本國民性の獨得優越であることを表書きして居る、みだりに珍らしものカブレ外國カブレをすることは最も愚ではないか、吾々は自分と云ふもの日本と云ふものを今少し強く自覺する必要がある。

日本人日本に生れて日本に育ち日本に住んで居ては、日本の國體の有難味日本人の家族制度から來る優れたる民族性の相互愛の有難さは判明せぬ、自分で自分の環境の有難味は感ぜないのである、佐野鍋山のやうに日本日本人性を去つて一庶他國の飯を喰つてみると自分の家の飯の味が判明して來るのではあるまいか、昔から日本には「可愛い子供には旅をさせる」と云ふことがある、願はくば佐野鍋山兩名が一步を進めて共產主義の理論の缺陷、實施上の不適性、共產黨の失態とを國民教育の爲め率直に、赤裸々にすることを希望する、男ら、き兩名の告白が聞きたい。



朝から晩まで一年中太陽の光線を受け萬物を育て、吾々は生存をして居る、太陽に感謝をしたことがあるか、夜分一時間も二時間も停電をしてネオンの銀座が真くらやみとなつた時始めて電氣の有難さを感じるであらう、日本人日本に居て日本の國體の有難味、日本民族性相互愛自己の還境の優位を感じるや少し、鰻屋が鰻の味を知らずと一般である。

筆者曾て新聞記者の職務の爲め龜戸の或工場調査に行つたことがある、當時帽子を風にとられて工場脇の堀の中に落したところが工場の石炭荷役に従事して居つた一人の男が態々堀の中に入つて拾つて呉れた、以來約一年日本橋區一石橋のところで遇然其男に出會つたので、當時の禮を述べ盡飯を馳走することにして某デパートの食堂に同道した、勿論彼はルンペン生活の男である、食堂に行つて何がよいかとたづねたら「馳走になつて我ままのやうですが鰻井の上等が食べたい」と云ふのであつた、そして食事をとりながら其男が鰻井を食いたい理由と身の上話を聞いたのである。

其男は深川生れ佐藤久四郎君當時五十八歳で、十五歳の時から深川櫓下の某料理店の小僧兼出前持ちに雇はれ後に料理場の職人となり、女中であつたサトと云ふ者と夫婦になり共稼ぎをして僅かの資本を貯め三十五歳の時本所で労働者相手の「めしや」を開業することが出来て、五

年位の後には鰻屋専門に轉業し其頃から歐洲大戰の好景氣で商賣は繁昌する、六七年の間に相當貯蓄が出来て借家して居た店の建物二戸建一棟を買取り隣りは貸屋とするまでになつた、ところが大正十二年の大震災で家や道具は焼ける妻サトさんは焼死して子供は無く、甥の一家も遠い親類の一家も皆焼死して久四郎さん孤獨となつてしまひ、火災保険金の一部分と貯金と合せて四百圓ばかり残つたが震災後マゴ／＼してゐる内に使つてしまひ、二年ばかり奉公して居たが奉公先きが閉店をする遂にルンペン生活に落ちて時々「オカン」の宿をするまでに下つてしまつた、そこで以前鰻屋をして居る頃は朝から晩まで鰻の香ひが鼻についてゐて鰻などうまいとも思はず食べることも殆んど稀であつたが、ルンペンに落ちて一年も二年も鰻の香ひから離れてゐると無暗に鰻が食べたくなる、斯うして食べて見ると成る程鰻のうまさがつく／＼わかる。

と久四郎君の談片、鰻屋であるとき鰻の味を知らずである、吾々日本國民日本に居て日本人としての幸福を享けて居る……鰻屋に於ける主人のやうに……吾々は其幸福の自覺に乏しいのではないだらうか。



ルンペンとなつて鰻の味を知る！ 停電をして電氣の有難さを知る！ 共産黨に飛込んでから其非を知つて轉向をする！ 飛込まない一歩前に先づ己を考へよ！ 汝は幼にして母に乳を與へられ母のふところにて育てられ三歳となり五歳となり、父や母に愛され兄や姉にも可愛がられたであらう叔父や叔母にも近所隣りの人にも愛せられたであらう、友だちとも仲よく遊んだであらう、十歳となり十五歳となり成年となるまでの間の二十年を想へ、人生己れのみではない相互に相共に相たすけ樂しく睦まじく生活をして行くのである。

### 十、社會改造と云つて

ギルド社會主義でも共産主義でも資本主義でも理論がどうであらうとも、吾々人類の生活が平和であり幸福であるならばそれでよからう、何事にも萬全な満足と云ふことは得られない太陽の光線でさへ冬は家の中の北座敷に陽があたらぬ不満があらう、夏は暑い／＼と云ふだらう、資本主義だとして多少の缺陷はあつても改善々用されたら結構である、思想悪化と云ふ左傾と云ふ右翼が憤慨をする、其源や必ずしも資本主義の缺陷のみではあるまい、社會道德の顛廢も大きな原因であらう。

官公吏政治家が潰職をやる有閑マダムとか不良紳士などが放埒をやる、小ブルジョアが之れ見よがしの贅澤をやつて善良な國民の反感をそよる、資本家營業と云つた不良重役が會社を喰物にしたり方面委員など貧民救済に配布すべき米の引替券をゴマカシてふところを肥したり、何々慈善團體の名で金を集めて妾を置いたり遊蕩に使ふ、そんな人間の存在が自然に思想悪化の最大原因となるのである。

財閥富豪資本家などと云つて一口に攻撃することは常らない、横暴なる資本家と云ふのは愛國志士の行動を種にして金儲けをしやうとしたり、借金で株主となり持株は銀行に擔保に入れ、會社は缺損無配當であつても重役は巨額の手當や報酬を受け會社の自動車を自家用にして贅澤をして居る資本家營業重役營業と云つた者が存在するから資本家攻撃の目標となつて居る、財閥資本家と云つても善良なる彼も同罪とすることは不當である分析して見ねばならぬ、又彼等が國家に盡し國民に裨益するところあるのを抹殺し削除し失念することは出来まい。

思想善導と云つても唯單に「善導／＼」と角力のふれ太鼓のやうに騒ぎ廻るだけでは効果は得られまい、最も効果的なのは古い文句の「勸善懲惡」を嚴に勵行することであらう。



國利民福社會改造と云つて、テロもあれば各自各様の意見なり抱負も在る、だが然し自己の修養職業環境にのみ支配されて判断することは危険である、某代議士が楠濱正金銀行に来て「爲替取引所は何所に在るのか」と聞いたやうな珍談實例さへある、政黨が軍政を論じたり軍人が一般政治に干與する如きは危険千萬である、元帥を商工大臣にしたからとて忽ち産業の隆盛とはならない、經濟學博士を參謀總長にしたからとて經濟的策戰方法は生れまい、自己環境に捉はれた見解によつて無やみと他人のやり方を攻撃することは甚だ危険である。兎角職場の異つたところの人間の批判攻撃と云つたものが純心なる青年男女の心を動したり誤信させたり種々な過ちの基となつた實例が幾つもある大いに注意すべきであらう。人間萬能の者は無い各人は其職分に忠實であつて一族隣人相親しみ相たづさえて道徳を嚴守して行つたなら、他も吾れも國家も幸福である。

反省しないからと云つてテロに出る非合法行動に出る、一時的に破壊しても健全なる政府の出現によつて模範的國家が建設され國民は救はるゝなりと簡単に斷定してよからうか、明治初年以前の社會經濟機構状態と違ひ今日の經濟機構なるものは頗る複雑であつて、一角の崩れは忽ち全面的に及ぶ農村疲弊の時は都會地も不況である、今朝米國で原棉收穫豫想の發表があれば今夕日本の棉花

棉絲の相場を動かし取引所で株式の相場に影響し株式街で小料理屋の賣上げにも響く、萬一にして破壊の不安に襲はれたなら一朝にして財界に巨億の損傷を與ふるのである。

或は破壊の爲めに財界を動搖せしめ巨億の損害を與ふると云つてもそれは有産者のみが受くるところの損害では無いか、などと云ふ勿れ、銀行が取付けられ事業會社の運轉が止まつたなら工場は閉鎖され商人は倒産する程有産者の損害であるが、更に工場なり商店の使用人は何所より収入を得て生活をするであらうか、健全なる政府が出現するまでに既に取り返しの付かない財界の破壊となる、一度取り付けがあれば銀行は再び立つことは出来まい商人の信用は無くなる、建設と口に云ふのは簡單であつても愈々となるとやすく建設は致され得ないのである。

と云つて此まゝ日本の状態は放任してよろしいと云ふのではない、大いに國民が覺醒をして力強く踏み出さねばならない過渡期である、不良資本家横暴富豪を掃蕩する爲めには商法の改正も必要とするだらう、民法の改正も必要とするだらう、或は社會的制裁をも必要とするであらう、一個一個に就いて民衆の自覺と合法的手段を以て其改善は圖られねばならない、例へば選舉の時勸めらるゝがまゝに又は履歴だとか資産だとか推薦人だとかに盲從して投票する、と云つた國民の自覺其も



のに於て不足があるのではないか、先づ自分の足下から確乎たる信念を養つて行かねばなるまい。

## 十一、青年男女よ

共産主義の根本をつかんで實社會に不適當であることは納得せらるゝであらう、更に建國三千年一系の天皇を頂き平和幸福の國世界に冠たる日本には絶対に容れ難きもの、手薄な官憲にのみ委ね防がせて安閑たるを得まい、國民否青年男女の血氣によつて一蹴せられねばならぬ。

非常時日本の運命！ 複雑な過渡期に在る日本抑も何人によつて救はるゝぞ、頽廢せる政人にあらず我利一點の投機人にあらず學者でない老人でない、獨り青年男女の双肩に委ねられて居る諸君の任務や重且大なり、一大臣が何ぞ一富豪が何ぞ國家國民の彌榮えを希ふ正義正道に基き天地に恥ぢざる正業を歩むならば、工場にハンマーを持つ青年畦道に鋏をかつぐ青年諸君は九千萬の同胞を養ふといろの神である、短き現世の粗衣粗食も未來永遠の天國に必ず應報があらう。

社會改造之又青年の血が踊らねば不可能である、不良政人不良資本家賣國奴外道を行く富豪有閑不徳人に對し決然立つて反省改悛を求む、青年諸君の猪突勇氣に待たねばならぬ、されども合法的

たれ天下の法を濫さずとも手段は盡きない一個一個階段的に諸君の猛進を期してやまない、筆者社會改造の具體提案なきにあらざれども茲に紙上の餘裕無く重ねて讀者にまみゆることを希ふ。終

謹告

拙著 日本労働爭議史 上下二卷二千頁

上卷資本と勞力(要約論、労働爭議總論、資本論、勞務者待遇法論、勞力分配論)

下卷爭議の實例

右は屢々改版追版の止むなき事情に立至り候爲め元來資力乏しき身、意外なる遅延と相成居候處近く完成の上御高評を相仰ぐを得可申此段謹告仕候

松尾小三朗



松尾小三朗先生著

**景氣不景氣の流れ**(菊版總皮衣紙全一冊  
約六百頁乃至七百頁)

右弊社にて發行の事に特約先生自ら御發行の日本勞働爭議史完結の後原稿御整理被下候筈  
日本勞働爭議史上卷第三編資本論第三章資本の運用第五款「好景氣の原因と不景氣」の中  
より景氣論の一端を抜萃しますと。

好景氣……それは災害である。災害の後に好景氣あり、史實が證明する、三千五百億萬  
弗の災害を受けた世界戰爭の好景氣は三千五百億萬弗でありそして三千五百億萬弗の世  
界的な不景氣を卷起し、百一億圓の災害を受けた大震災後の好景氣は百一億圓でそして百  
一億圓の負債となり不景氣となつた。世界中の經濟學者や政治家が何萬人集つて頭を絞  
つても平和の境地に好景氣は生れまい、短い好景氣など始めから無い方が長い不景氣が  
無くて平和である。と。

發行所

株式會社

三友商會



讀者に！原橋はまだあつたでも盡きない而も紙の制限で三割もオミットした物足らぬ所もあらう識者に！書名書卸の錯誤あるやも知る著者を責めよされど一讀して著者の眞劍なるを汲まれよ。

1226

二十六世紀 二千五百九十三年初版  
昭和八年十二月十九日印刷  
昭和八年十二月廿九日發行



著作者 松尾小三朗

發行者 松尾小三朗

東京市麹町區有樂町二ノ四

印刷者 升辰雄

東京市芝區新橋四丁目四六

發行所

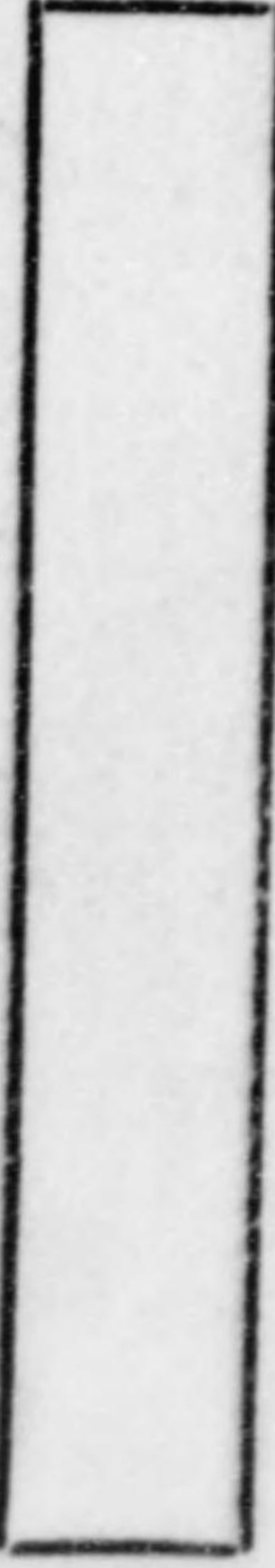
帝國經濟聯盟

東京市麹町區有樂町二ノ四

電話銀座 (57) 自三三七三 至三一七三



事業  
一 經濟に關する研究  
二 公和經濟改善運動  
三 新聞雜誌の論說記  
提供  
大正三年  
八月創立  
帝國經濟聯盟



4  
3